

認知症医療センターには、一般市民、専門職の方々へ認知症に関する情報を発信し、認知症の普及・啓発を促進するという重要な役割があります。センター便りとして定期的に情報を発信していきます

## 当センターの協力施設のご紹介 ～有限会社 グループホーム みんなの家～

### ■ グループホームとは

「グループホーム」とは、認知症で介護が必要な人が少人数の住まいで自立した日常生活が行えるように支援する施設です。介護保険法上は「認知症対応型共同生活介護」と言います。

今回は、当センターと認知症の人の伴走型支援事業で協力関係にある「グループホームみんなの家」をお訪ねし、管理者の山本さん、准看護師の和田さんにみんなの家での活動についてお聞きしました。

### ■ みんなの家の理念と活動

#### 金蔵:

まず、「グループホームみんなの家」の理念、ポリシーをお聞かせいただけますか？

#### 山本さん:

当ホームで、全てのスタッフが大切にしていることは「入居者さんに笑顔で過ごしてもらうこと」そして、その笑顔を見て「ご家族に安心感をもっていただくこと」です。

入居者さんの笑顔を引き出すために、入居者さん一人ひとりの個別性を重視したケアを心掛けています。



当ホームには常勤・非常勤を含め 11 名のスタッフが在職しています。そのうち 2 名は

他国からのスタッフです。日本語は勉強中で言葉がうまく通じ難いという点もありますが、この理念をもとに身振り手振りで入居者さんとコミュニケーションをとり、明るく笑顔で頑張っています。

入居者さんが楽しいと感じられる時間を出来るだけ多く作れるように、居酒屋やラーメン屋にもお連れすることがあります。ご本人が伝える

ことができなくても、その方の生活歴やご家族からの情報から、入居者さんが持つご希望にお応えしていきたいと思っています。



右 山本さん、左 和田さん



その日の思い付きで、外出できる入居者さんには可能な限り外出する時間を作るよう努めています。行先は市内だけではなく、久留米や久山町、芦屋海岸など色々なところに出かけます。みなさんとても楽しみにしていて、車中でも会話が途絶えません。

もう一つ、入居者さん一人ひとりが出来ることで、ホームでの役割を持っていただくことを大切にしています。例えば、掃除や調理の手伝い、食器の片付けなどです。ある方には本人専用の掃除道具をホームで購入した上で、ご本人にお渡しし、「これ〇〇さんの掃除道具です。お願いしますね」と伝えると熱心に掃除をしてくださいます。そしてスタッフが感謝の気持ちを伝えることで、とても嬉しそうな笑顔を見せてくださいます。



ホームにはここから少し離れた場所に畑があります。畑作業も入居者さんが出来ることで作業（苗植え、草抜き、収穫）をお願いしています。作物が実った時には、それを食材としてみんなで食べたり、一部は近隣のグループホームなどへ持って行き販売しています。



ご家族への対応ですが、面会に来られる度に、スタッフがホームでの様子をお伝えします。スタッフが直接ご家族にお話をすることで、スタッフとも交流していただく機会を作っています。どのようなスタッフがケアを行っているか知ってもらうことでより安心感を感じてもらえると思っています。ご家族の多くは、自宅で介護をするのが難しくなり、ホームに任せなければならなくなったことで、自責の念を抱いておられます。面会に来られた時に、入居者さんが元気で、明るい表情で過ごしている様子を見ると気持ちも楽になれるようです。中には「家にいた時よりも元気になった」とうれしいお言葉をいただくこともあります。

## PRしたいこと

金蔵:

今お聞きしたことの他にみんなの家の特徴（ここはぜひPRしたい点）を教えてくださいたいのですが。

山本さん:

みんなの家の入居者さんの平均要介護度は4と、他所に比べると重度の方が多く、中には不調を自ら訴えることが出来ない方もいらっしゃいます。その為、些細な変化でも見逃さないようにしています。

多くの方が身体疾患を抱えていらっしゃいます。当ホームには正看護師1名、准看護師3名がいますので医療面でのサポートも可能です。このホームで最期を看取った方も複数いらっしゃいます。

たとえ重度であっても車椅子に座ったままの状態にはしません。その人の状態によってどうすれば椅子に座っていただけるかを考え、工夫しています。椅子に座り、人の輪の中で楽しい雰囲気でも過ごせるようにしています。

金蔵:

山本さんありがとうございます。それでは和田さんにお尋ねしたいことがあるのですが、一つが看護職の立場から入居者さんへのかかわり方で心がけていること、もう一つが、山本さんが話されたこと以外でみんなの家の特徴などをお聞かせいただけませんか？

和田さん:

認知症研修などで学ぶ機会もあり、認知症の知識はあるのですが、その知識のみで入居者さんをみることはしていません。

あくまでもその人を見て、その人ができること、楽しく思うこと、手助けが必要な部分にもどのようなサポートをすれば、その人自身ができるかをその人の性格やその時の反応を見ながら支援しています。重視しているのは入居者さんとの関係性です。認知症ケアの専門職として、同じ人間であるという、お互いがフラットな関係性を築けるように努めています。

山本が話したこと以外の当ホームの特徴といえば、食事です。

認知症により食事に関する認知機能の低下もおきてきます。当ホームでは、入居者の方一人ひとりの食事に関する認知機能のアセスメントし、できる限り口から食べてもらえるようにサポートしています。

ホームはメニューも豊富で、かなりボリュームもありますが、入居者さんはしっかり召し上がっています。中には食べ終わるまでに一時間半程かかる方もいらっしゃいますが、意欲を引き出す工夫を重ね、ご本人が食べたいという意欲がある限り全スタッフでサポートしています。



金蔵:

ここまでお聞かせいただいた事以外で、アピールされたい事があれば、お聞かせください。

山本さん:

一つが、当ホームには認知症の人を対象にしたデイサービス（介護保険上は（共用型）認知症対応型通所介護）も行っています。利用定員は3名と少ないのですが、現在受け入れ可能です。

もう一つが、当ホームでは「伴走型支援事業」を直方市と協定書を交わし行っています。認知症の診断を受けた方との関わり方などご家族からのご相談を受けたり、一人で暮らしている方への自宅訪問、またご本人、ご家族と一緒に受診に同行したりと様々なサポートを行っています。まだまだこの事業については知名度が低く、相談・対応件数は少ない状態です。認知症についてどうすればいいのか。どこに相談していいのかわからないといった方、まずはご相談ください。解決のできない問題もみんなで受け止めることできっと気持ちが楽になるはずです。どうぞ、お気軽にご相談ください。

金蔵:本日はどうもありがとうございました。

## グループホームみんなの家

〒822-0003 直方市大字上頓野 3635 番地 1

電話 0949-26-6808 FAX 0949-26-6836

URL:<http://minnanoie-nogata.com>

Eメール:[mail@minnanoie-nogata.com](mailto:mail@minnanoie-nogata.com)

ホームページのQR



# 2024年度第1回認知症啓発のための公開セミナーのご案内

## [メインテーマ]

「認知症と認知機能が低下した人の自動車運転と生活を考える」

## [開催日]

令和6年8月30日(木) 13:00~16:30

## [会場]

直方鞍手医師会館 (直方市大字山部 808-13 TEL 0949-22-0448)

## [プログラム]

13:00~14:30

### (記念講演)

テーマ「認知症と認知機能が低下した人の自動車運転と生活を考える」

講師 高知大学医学部保健管理センター

准教授 上村 直人(かみむらなおと)先生

14:40~15:40

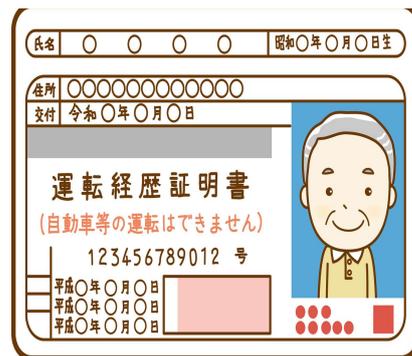
### (講演)

テーマ「県内および直鞍地域における高齢者の自動車事故の現状」

講師 直方警察署交通課交通総務係長 生野真一警部補

16:00~16:30

### (質疑応答)



お申込みはコチラ



## 医療・福祉・介護の専門職向け「認知症セミナー」を開催いたします

認知症の人が可能な限り住み慣れた地域で暮らし続けていけるように、認知症の医療・介護に携わる専門職が、認知症に関する医学的知識及び支援方法について学び、対応力の向上を図ることを目的に7回シリーズで開催いたします。

参加費は無料です。参加方法は、セミナーはZOOMおよび会場(直方イオンモールイオンフォール)参加のいずれかをお選びいただけます。詳しくは、右記のQRコードで、また当院ホームページをご覧ください。なお、ご意見、ご質問等は下記の事務局までご連絡ください

### <プログラム>

第1回「認知症の基礎知識」講師 みずほ内科・レディースクリニック 院長 輪田順一先生

第2回「認知症の薬物療法」講師 医療法人福翠会高山病院 薬剤師 白石英樹薬局長

第3回「認知症の中核症状のとりえ方と対応法」講師 高山病院福岡県認知症医療センター 金蔵常一

第4回「認知症の非薬物療法」～グループホーム・デイサービスの実践から～講師 グループホームみんなの家 山本幹雄さん

第5回「認知症の周辺症状のとりえ方と対応法」講師 高山病院福岡県認知症医療センター 金蔵常一

第6回「認知症の非薬物療法」～ノーリフティングケアとユマニチュード～ 講師 ToTb デイサービス 朝香智行さん

第7回「専門職に望むこと」～認知症の当事者と支える家族の声～

(当事者の立場から) 下坂厚さん(写真家・京都府認知症希望大使)

(家族の立場から) 宗廣壽美子さん(認知症の人と家族の会直方代表)

## [編集・発行]

医療法人 福翠会 高山病院 福岡県認知症医療センター

〒822-0007 福岡県直方市下境 3910-50

TEL 0949-23-0520(専用電話) FAX 0949-24-0838

E-Mail takayamaninchis@gmail.com URL <https://nogata-fukusuikai.jp/>